熊本市健康まちづくり活動方針

平成２４年９月（平成３０年４月改定）

熊　本　市

＜目　次＞

第１　はじめに　・・・・・・・・・・・・・・・・・　１

第２　活動方針が目指すもの　・・・・・・・・・・・・・・・・・　２
　１　基本的な考え方
　２　目標
　　〇成果指標
　３　期間　・・・・・・・・・・・・・・・・・　３
　４　推進体制及び進行管理

第３　各区の活動方針　・・・・・・・・・・・・・・・・・　４
　Ⅰ　中央区
　　１　区の概要
　　（１）地理的特徴
　　（２）基礎データ
　　（３）産業の状況　・・・・・・・・・・・・・・・・・　５
　　（４）地域活動団体の状況
　　（５）区の特徴
　　２　区の活動方針　・・・・・・・・・・・・・・・・・　７
　　（１）区の目標
　　（２）取り組みの方向
　　（３）成果指標
　　（４）推進体制　・・・・・・・・・・・・・・・・・　８

　Ⅱ　東区
　　１　区の概要　・・・・・・・・・・・・・・・・・　１０
　　（１）地理的特徴
　　（２）基礎データ
　　（３）産業の状況　・・・・・・・・・・・・・・・・・　１１
　　（４）地域活動団体の状況　・・・・・・・・・・・・・・・・・　１２
　　（５）区の特徴　・・・・・・・・・・・・・・・・・　１３
　　２　区の活動方針　・・・・・・・・・・・・・・・・・　１４
　　（１）区の目標
　　（２）取り組みの方向
　　（３）成果指標
　　（４）推進体制　・・・・・・・・・・・・・・・・・　１５

Ⅲ　西区
１　区の概要　・・・・・・・・・・・・・・・・　１７
（１）地理的特徴
（２）基礎データ　・・・・・・・・・・・・・・・　１８
（３）産業の状況
（４）地域活動団体の状況　・・・・・・・・・・・・・　１９
（５）区の特徴
２　区の活動方針　・・・・・・・・・・・・・・・　２０
（１）区の目標
（２）取り組みの方向
（３）成果指標
（４）推進体制　・・・・・・・・・・・・・・・・　２１

Ⅳ　南区
１　区の概要　・・・・・・・・・・・・・・・・　２３
（１）地理的特徴
（２）基礎データ
（３）産業の状況　・・・・・・・・・・・・・・・　２４
（４）地域活動団体の状況
（５）区の特徴　・・・・・・・・・・・・・・・・　２５
２　区の活動方針　・・・・・・・・・・・・・・・　２６
（１）区の目標
（２）取り組みの方向
（３）成果指標
（４）推進体制　・・・・・・・・・・・・・・・・　２７

Ⅴ　北区
１　区の概要　・・・・・・・・・・・・・・・・　２９
（１）地理的特徴
（２）基礎データ
（３）産業の状況　・・・・・・・・・・・・・・・　３０
（４）地域活動団体の状況
（５）区の特徴　・・・・・・・・・・・・・・・・　３１
２　区の活動方針　・・・・・・・・・・・・・・・　３２
（１）区の目標
（２）取り組みの方向
（３）成果指標
（４）推進体制　・・・・・・・・・・・・・・・・　３３

第１　はじめに

・本市では、熊本市第７次総合計画において「生涯を通して健やかで、いきいきと暮らせる保健・福祉の充実」を掲げ、「健康くまもと２１基本計画」に基づき、健康づくり活動の支援、健康に関する情報提供、健康教育、更には相談事業や各種健康診査のほか、乳幼児期から高齢期までの健康を保持増進するために、各世代に応じた健康的な生活習慣の実践を支援しています。

・このような中、若い世代からの生活習慣病対策に重点を置いた取り組みとして、市民との協働により、平成 20 年度から生活習慣病改善モデル事業を実施してきました。

・その結果、住民意識が高まり、地域の中に健康づくり組織ができたほか、減塩食の勉強会など健康の視点が盛り込まれた地域の催しが開催されるなど、校区全体での健康づくり活動につながっています。

・「健康づくり」は、一般的には、個人の意識に拠るところが大きいものと考えられています。しかしながら、個人の健康づくりを実践、継続していくためには、人と人とのつながりを強め、お互いに支えあい、地域の健康課題を考える場などの環境整備も必要であり、これには地域活動の拡がりや、各種団体の活性化につながる「まちづくりの要素」が多く含まれています。

・そこで、市民一人ひとりの心身の健康は、地域の活力の源との考えから、市民との協働による健康づくりをテーマとしたまちづくり（以下「健康まちづくり」）に全市、全庁的に取り組むこととし、まちづくりの拠点である区役所を中心に、小学校区ごとに、地域の個性や特性等を活かし、地域イベント等に健康の視点を取り入れるなど、誰もが楽しみながら、積極的に参加できる取り組みを市民と協働で企画するなど、地域のコミュニティづくりと一体となった事業の展開を行います。

・今回の「熊本市健康まちづくり活動方針」（以下「活動方針」）は、小学校区単位での健康まちづくりを推進していくうえで必要な各区の特性や、地域活動団体の状況等を明らかにするとともに、これらを踏まえた区の目標や成果指標、区の推進体制などの基本的な事項をまとめたものです。

・各区においては、この「活動方針」に基づき校区自治協議会等の各種団体等を通じ、地域の健康課題等を住民と共有し、改善に必要な計画づくりや活動等を協働し、校区単位の健康まちづくりを進めてまいります。

第２　活動方針が目指すもの

１　基本的な考え方

（１） 区ごとの推進

政令指定都市ビジョンに掲げる「日本一暮らしやすい政令市くまもと」の実現を目指し、誰もが住み慣れた地域で、健康で暮らし続けることのできるまちづくりに、地域の特色にあった手法で取り組むこととし、そのための活動方針（以下「活動方針」）を区ごとに定めるとともに、区役所内の関係課が協力して取り組む体制を整備します。

（２） 小学校単位での活動展開

これまでのモデル事業をベースとしながら、農水産業が盛んな地域や子育て世代が多い地域など、その校区の個性や特性を住民と共有しながら、住民と協働による健康まちづくりの取り組みを展開します。

（３） マネジメントサイクル（ＰＤＣＡ）の考えに基づく進行管理

各区及び各校区において、「地域の実態分析」→「活動の計画」→「実施」→「評価」の過程を住民と協働で進め、その過程の繰り返しによる自律的な活動の仕組みを確立します。

（４） 全庁的推進

各区における取り組みを全市的、全庁的に推進するために、区役所、本庁関係課による組織を設置するとともに、推進会議において進行管理を行います。

２　目標

全ての市民が生涯を通して、住み慣れた地域で健康でいきいきと暮らせるまちを市民と協働でつくる。

○ 成果指標

① 健やかにいきいきと暮らしていると感じる市民の割合

５７．８％（Ｈ２３）　⇒　６５％（Ｈ３４）

② 自ら健康づくりに取り組んでいる市民の割合

６７．６％（Ｈ２３）　⇒　８２％（Ｈ３４）

※両指標は健康くまもと 21 推進基本計画、第 7 次総合計画・実施計画の成果指標に準じる

３　期間

この取り組みは、第７次総合計画との整合性を図る観点から、平成２４年度から平成３４年度までの１１年間とします。

ただし、区の取り組み状況等に応じて、必要な見直しを適宜行います。

４　推進体制及び進行管理

（１）区プロジェクトチームの設置

住民と協働し、健康まちづくりのための取り組み等を展開するために、区役所関係課により構成するチームを設置します。

（２）健康まちづくり推進会議の設置

区役所、本庁関係課等による推進会議を設置し、課題整理や情報の共有化等を図ります。

また、健康まちづくりの取り組み状況は、全ての局及び区役所の事務事業に影響があることから、推進会議へ報告し、情報を共有化するとともに、全庁的な進行管理を行います。

第３　各区の活動方針

Ⅰ　中央区

１　区の概要

（１）地理的特徴



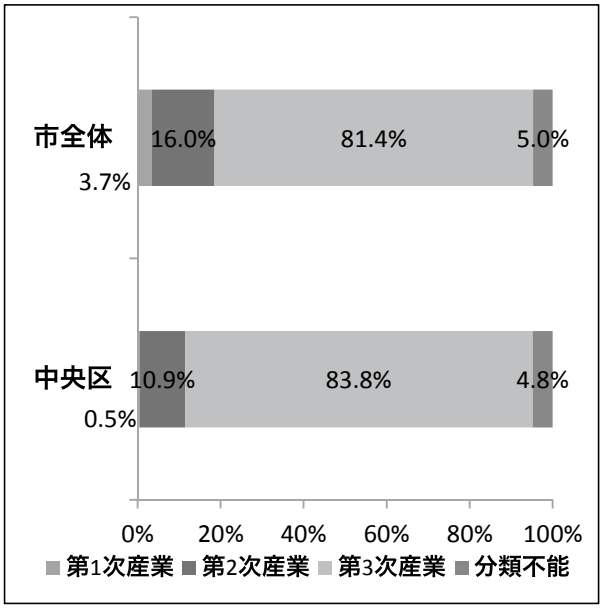
中央区は熊本市のほぼ中央に位置しており、他の４つの区と隣接し１９の小学校区で構成されています。城下町を中心に市街地が発展してきたエリアで、熊本城周辺に中心市街地が形成され、ほぼ全域が市街地となっています。区内を白川と坪井川が縦断し、中心部の熊本城一帯や北部の立田山の豊かな緑、南東部の水前寺成趣園や江津湖等の湧水の潤いなど自然にも恵まれています。

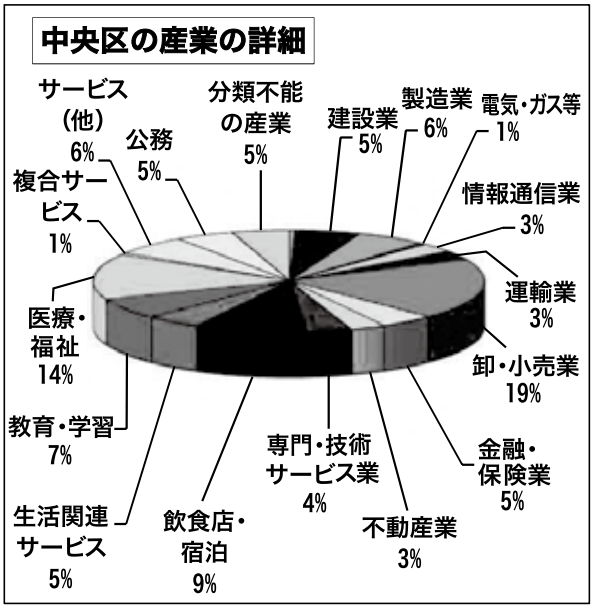
（２）基礎データ

		中央区＊		熊本市	
面　積		24.95	km^2	390.32	km^2
世帯数（H29.10.1）		93,661	世帯	336,638	世帯
人　口（H29.10.1）		178,658	人	733,720	人
年齢３区分	0～14歳（年少人口）	22,178	人	103,627	人
	（　構成比　）	(12.4	%)	(14.1	%)
	15～64歳（生産年齢人口）	113,929	人	446,336	人
	（　構成比　）	(63.8	%)	(60.8	%)
	65歳以上（老年人口）	42,551	人	183,757	人
	（　構成比　）	(23.8	%)	(25.0	%)
校区数		19	校区	92	校区
出生数（H27年）		1,561	人	7,062	人
出生率（人口千対）		8.8		9.6	

＊別紙１（中央区）参照

（３）産業の状況　（平成22年国勢調査より）





（４）地域活動団体の状況

団体名	団体数	状況等
校区自治協議会	19	
自治会	243	
まちづくり委員会	10	
校区社会福祉協議会	19	
民生委員児童委員協議会	19	
体育協会	19	
ＰＴＡ	30	小学校19　　中学校11
子育てサークル	22	
高齢者サロン	71	
医療機関	406	病院39（うち公的病院2）・診療所223・歯科診療所144

（５）区の特徴

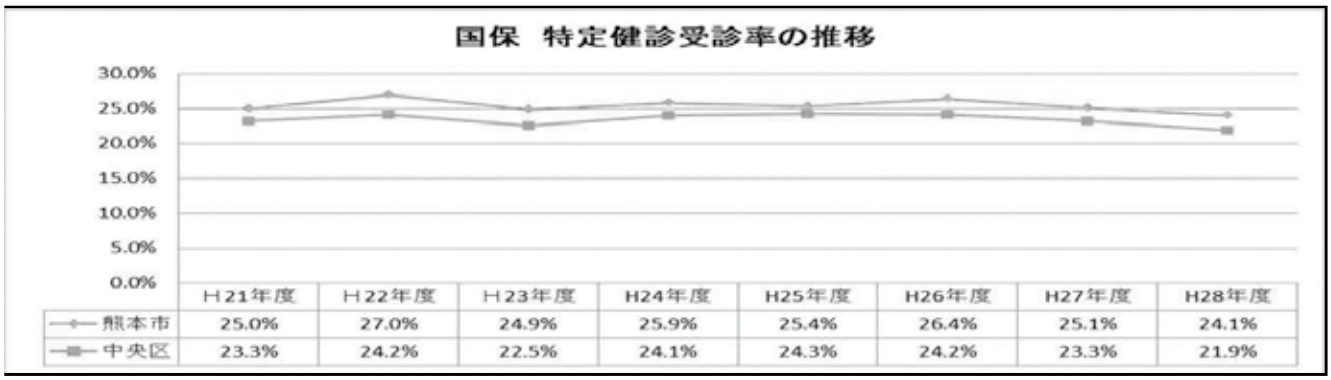
・熊本城を中心にした市中心地域の人口密度が最も高く、都市集積が進んでいるエリアで、区の中心には上通、下通のアーケード街を核とする県内一の中心商店街が広がる一方、周辺地域には旧城下町としての佇まいの街並みも残っており、新旧の調和が保たれている。また、行政機関や企業の本店も多く、交通網の拠点として交通センターもあり、他区からの通勤・通学、買い物客等が多いため、昼と夜の人口の差が大きいという特徴がある。

・人口は５つの区で２番目に多い。年齢構成は、年少人口の割合は市平均より低いが、生産年齢人口の割合は高い。高齢化率は市平均より低いが、年々増加傾向にある。他の区と比較すると一世帯あたりの人員については、単身世帯の増加や核家族化により減少する傾向にある。

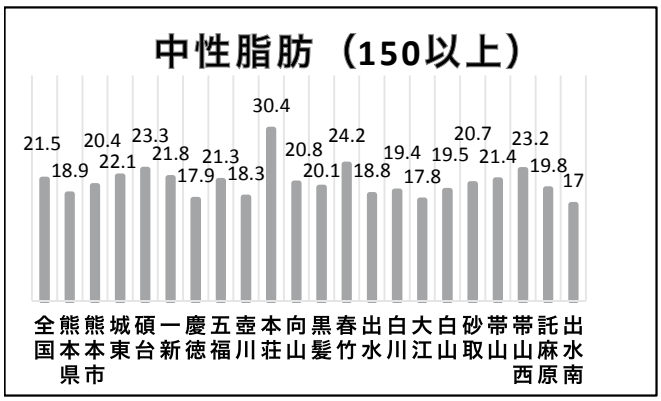
・本市の中心部を構成していることもあり、商業やサービス業などの第３次産業が最も盛んな区で、産業別就業人口は、第３次産業への従事が８割以上を占めている。熊本市の商店街のうち約7割が中央区に集中しており、特に中心市街地は県内随一の商業集積エリアとなってる。

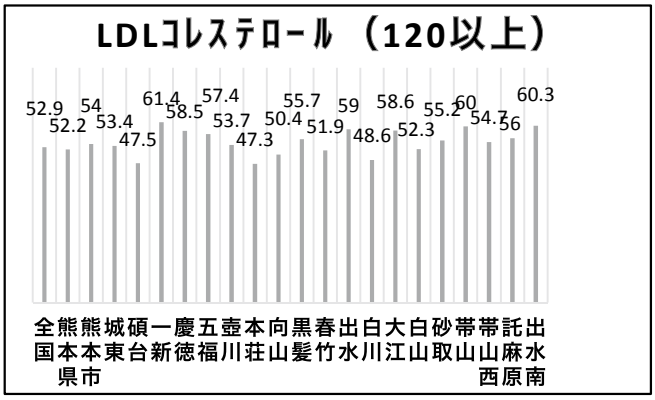
・医療機関が多く、恵まれた医療環境にあり、また大学や高校等教育機関も多い。

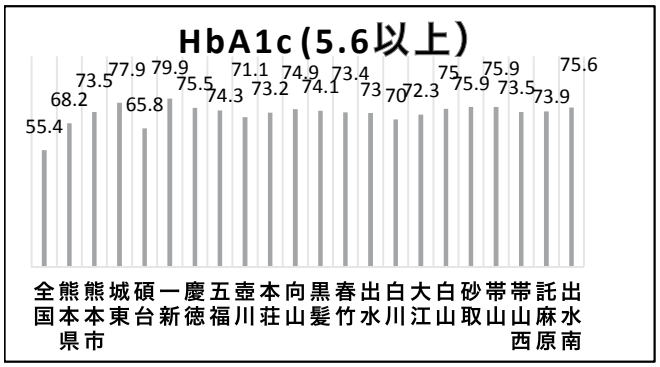
【健康課題】
①平成28年度検(健)診受診結果

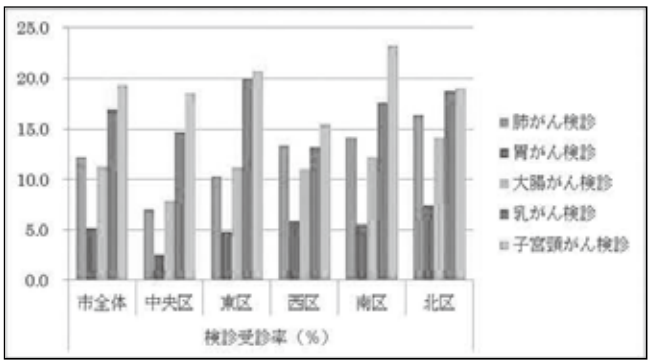


	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度
熊本市	25.0%	27.0%	24.9%	25.9%	25.4%	26.4%	25.1%	24.1%
中央区	23.3%	24.2%	22.5%	24.1%	24.3%	24.2%	23.3%	21.9%





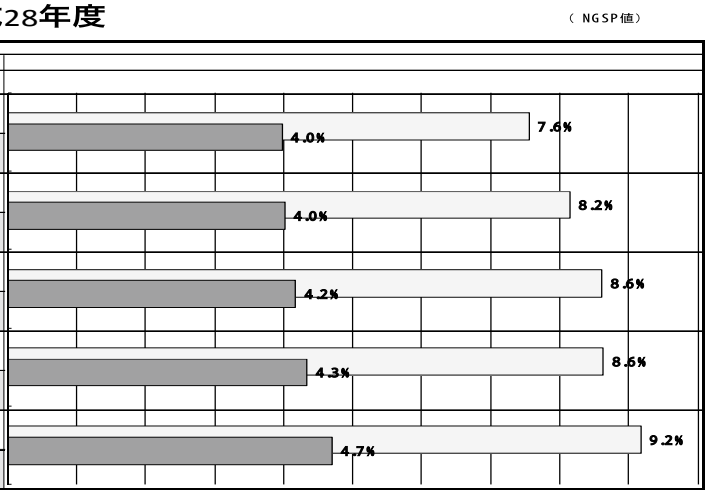




中央区　HbA1c6.5以上　平成24年～平成28年度

（NGSP値）

年度	HbA1c測定	5.5以下	5.6～5.9	6.0～6.4	6.5以上	再掲	
					再）7.0以上	未治療	治療
H24	6,761	2,620 38.8%	2,612 38.6%	1,018 15.1%	**511** 7.6%	**303** 59.3%	**208** 40.7%
					269 4.0%	**126** 46.8%	**143** 53.2%
H25	6,944	2,576 37.1%	2,763 39.8%	1,039 15.0%	**566** 8.2%	**343** 60.6%	**223** 39.4%
					279 4.0%	**132** 47.3%	**147** 52.7%
H26	6,943	2,320 33.4%	2,837 40.9%	1188 17.1%	**598** 8.6%	**356** 59.5%	**242** 40.5%
					290 4.2%	**132** 45.5%	**158** 54.5%
H27	6,775	2,133 31.5%	2,830 41.8%	1,227 18.1%	**585** 8.6%	**327** 55.9%	**258** 44.1%
					294 4.3%	**129** 43.9%	**165** 56.1%
H28	6,421	1,693 26.4%	2,757 42.9%	1,382 21.5%	**589** 9.2%	**373** 63.3%	**216** 36.7%
					302 4.7%	**152** 50.3%	**150** 49.7%



中央区は、特定健診及び各がん検診の受診率が市平均より低く、血糖値や脂質の異常者の割合は、県・市より高い。血糖値においては、HbA1c 6.5以上の割合が年々高くなっており、未治療者の割合も増加している。

２　区の活動方針

（１）区の目標

地域や仲間と支えあいつながりながら、生涯をこころ豊かに健康でいきいきと安心して暮らせるまちをつくる。

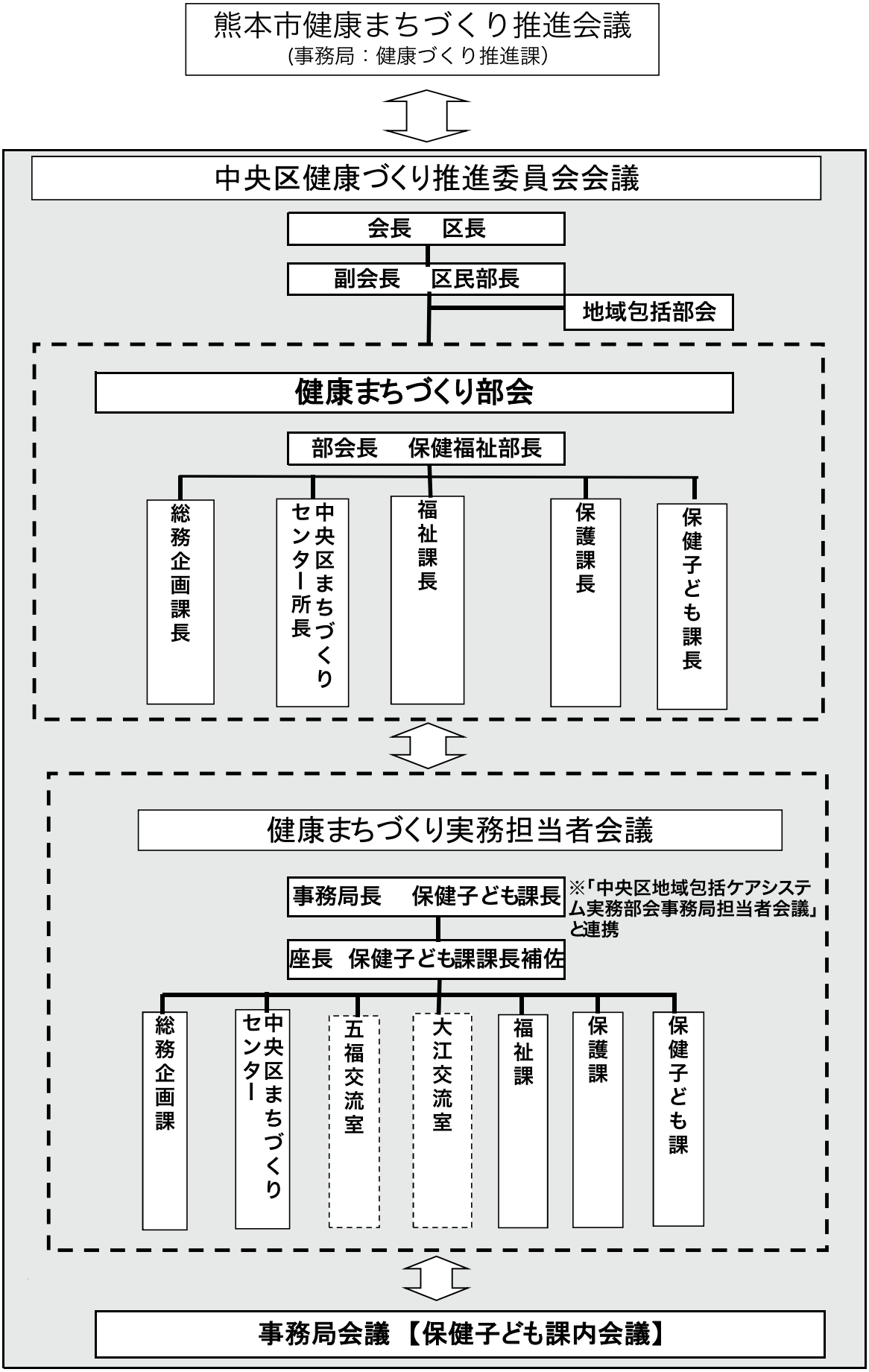
（２）取り組みの方向

①地域資源のネットワーク化
・区民の孤立化を防ぐための環境づくり支援
・新たな地域資源の開発や掘り起こし
②乳幼児期からの基本的な生活習慣の習得と確立
③健康課題や健康づくり等の情報発信の充実
④健康づくりボランティアの育成と活動の支援
⑤関係機関、組織、団体と連携し、介護予防・生活支援を含めた健康づくりの支援

（３）成果指標

◎自ら健康づくりに取り組んでいる区民の割合
※H34年度目標値は、第７次総合計画（H35年）の成果指標に準じる
H25年度：70.2%⇒H34年度：82%
◎健やかにいきいきと暮らしていると感じる区民の割合
H25年度：58.5%⇒H34年度：市の目標値に準じる
◎自分の校区（熊本市）が豊かで活気あるまちと思う区民の割合
H25年度：43.3%⇒H34年度：市の成果指標に準じる
◎子育てが楽しいと感じる区民の割合
H25年度：82.2%⇒H34年度：市の成果指標に準じる
○規則正しい生活習慣（早寝・早起き・朝ごはん・外遊び・テレビ）を身につけている幼児の割合
1歳6ヶ月児健診　H25年度：42.4%⇒H34年度：市の成果指標に準じる
3歳児健診　H25年度：36.8%⇒H34年度：市の成果指標に準じる
○肥満傾向にある者の割合（幼児・児童・成人）
1歳6ヶ月児健診　H25年度：　3.5%⇒H34年度：減少傾向へ
3歳児健診　H25年度：　1.8%⇒H34年度：減少傾向へ
学童男子　H25年度：　4.5%⇒H34年度：減少傾向へ
学童男子　H25年度：　3.1%⇒H34年度：減少傾向へ
成人男性（国保）　H25年度：30.6%⇒H34年度：減少傾向へ
成人女性（国保）　H25年度：15.9%⇒H34年度：減少傾向へ
○各種健診（特定健診、がん検診、幼児健診）受診率の向上
※H34年度目標値は、第７次総合計画（H35年）の成果指標に準じる
特定健診　H25年度：24.3%⇒H34年度：60.0%
肺がん検診　H25年度：　7.9%⇒H34年度：15.1%
胃がん検診　H25年度：　3.1%⇒H34年度：8.7%
大腸がん検診　H25年度：　9.0%⇒H34年度：15.0%
乳がん検診　H25年度：15.8%⇒H34年度：20.0%
子宮頸がん検診　H25年度：21.0%⇒H34年度：25.3%
1歳6ヶ月児健診　H25年度：92.7%⇒H34年度：市の成果指標に準じる
3歳児健診　H25年度：91.6%⇒H34年度：市の成果指標に準じる
○健康づくり推進に関するボランティアの登録者数（８０２０推進員、食生活改善推進員、医師等）
8020推進員　H25年度：　98名⇒H34年度：170名
食生活改善推進員　H25年度：138名⇒H34年度：180名
ボランティア医師　H25年度：　12名⇒H34年度：18名
●中央区が主催・共済・支援した健康講座等の開催回数、参加人数、健康講座を支援した団体数
健康講座開催数　H28年度：　138回　⇒H34年度：220回
健康講座参加人数　H28年度：5,485人　⇒H34年度：7,000人
健康講座支援団体数　H28年度：　21　⇒H34年度：増加を目指す
●中央区が、SNS(フェイスブック、インスタグラム、ツイッター、ＬＩＮＥ、ホームページ等）等を活用した健康まちづくり情報配信数
H28年度：24回　⇒H34年度：100回
●中央区が、医療機関（けんつく会）、学校、企業等と連携した健康まちづくり事業や行事の開催数
H28年度：51回　⇒H34年度：100回

（４）推進体制


熊本市健康まちづくり推進会議
(事務局：健康づくり推進課)
中央区健康づくり推進委員会会議
会長　区長
副会長　区民部長
地域包括部会
健康まちづくり部会
部会長　保健福祉部長
総務企画課長
中央区まちづくりセンター所長
福祉課長
保護課長
保健子ども課長
健康まちづくり実務担当者会議
事務局長　保健子ども課長
※「中央区地域包括ケアシステム実務部会事務局担当者会議」と連携
座長　保健子ども課課長補佐
総務企画課
中央区まちづくりセンター
五福交流室
大江交流室
福祉課
保護課
保健子ども課
事務局会議【保健子ども課内会議】

○基礎データ

交流室管轄			中央交流室				五福交流室						大江交流室								
項　　目		単位	黒髪	城東	碩台	壺川	春竹	本荘	向山	五福	慶徳	一新	白川	託麻原	帯山西	帯山	砂取	出水	出水南	白山	大江
人口（H29.10）		人	12,585	3,253	6,491	8,838	14,747	3,305	10,844	3,942	3,671	9,836	7,323	16,509	8,875	14,542	10,337	9,225	12,517	11,193	10,625
世帯数（H29.10）		世帯	7,276	1,900	3,869	4,504	7,838	2,283	5,518	2,157	2,391	5,310	4,077	8,863	4,093	6,831	5,173	4,941	5,496	5,527	5,614
年少人口（H29.10）		人	1,238	358	607	1,165	1,732	226	1,387	474	343	1,176	934	1,970	1,308	2,023	1,358	1,141	1,829	1,444	1,465
年少割合（0～14歳）		%	9.8%	11.0%	9.4%	13.2%	11.7%	6.8%	12.8%	12.0%	9.3%	12.0%	12.8%	11.9%	14.7%	13.9%	13.1%	12.4%	14.6%	12.9%	13.8%
母子保健	出生数（H27）	人	80	29	43	61	166	25	137	51	25	109	67	142	75	115	76	70	117	91	82
	出生率（人口千対）		6.3	8.9	6.8	7.0	11.3	7.5	12.6	13.4	6.9	11.2	9.2	8.5	8.3	7.9	7.7	7.8	9.4	8	8.1
	低体重児数（H27）	人	9	0	6	5	17	3	17	3	2	11	6	27	6	11	5	8	8	7	9
	低体重児出生割合	%	11.3%	0.0%	14.0%	8.2%	10.2%	12.0%	12.4%	5.9%	8.0%	10.1%	9.0%	19.0%	8.0%	9.6%	6.6%	11.4%	6.8%	7.7%	11.0%
死亡数（H27）		人	131	33	56	95	149	31	87	40	21	70	66	131	68	125	112	80	110	95	99
介護予防	65歳以上人口（H29.10）	人	3,260	857	1,785	2,314	3,689	792	2,355	896	655	2,383	1,547	3,702	1,885	3,566	2,636	2,250	3,286	2,456	2,237
	（うち75歳以上）	人	1,800	481	923	1,221	1,703	380	1,125	426	317	1,208	804	1,871	938	1,930	1,420	1,161	1,732	1,188	1,100
	高齢化率	%	25.9%	26.3%	27.5%	26.2%	25.0%	24.0%	21.7%	22.7%	17.8%	24.2%	21.1%	22.4%	21.2%	24.5%	25.5%	24.4%	26.3%	21.9%	21.1%
	介護認定数（65歳以上 H29.10）	人	829	194	444	511	829	206	492	210	137	524	364	825	451	826	713	546	711	541	507
		%	25.4%	22.6%	24.9%	22.1%	22.5%	26.0%	20.9%	23.4%	20.9%	22.0%	23.5%	22.3%	23.9%	23.2%	27.0%	24.3%	21.6%	22.0%	22.7%
特定健診状況	対象者数（H28年度）	人	1,740	581	1,135	1,212	2,297	551	1,492	612	520	1,536	950	2,152	1,116	1,860	1350	1,288	1,770	1,550	1,342
	受診者数（H28年度）	人	375	119	236	248	442	89	384	117	91	305	173	542	245	424	321	290	444	335	296
	受診率（H28年度）	%	21.6%	20.5%	20.8%	20.5%	19.2%	16.2%	25.7%	19.1%	17.5%	19.9%	18.2%	25.2%	22.0%	22.8%	23.8%	22.5%	25.1%	21.6%	22.1%

①人口・世帯数　……・人口統計表（熊本市統計課）平成29年10月1日

②出生数・出生率　……・熊本市の保健福祉平成29年度版

③低体重児数・低体重児出……・熊本市の保健福祉平成29年度版

④死亡数　……・熊本市の保健福祉平成29年度版

⑤65歳以上人口　……・人口統計表（熊本市統計課）平成29年10月1日

⑥介護認定数　……・熊本市の介護認定人数集計表 平29年10月（居住地による認定）

⑦特定健診　……・熊本市国民健康保険課　平成28年度　特定健診校区別受診状況

Ⅱ　東区

1　区の概要

（１）地理的特徴

●管轄校区（18校区）

画図　泉ヶ丘　若葉
秋津　健軍　健軍東
東町　桜木　桜木東
尾ノ上　山ノ内　月出
西原　長嶺　託麻東
託麻西　託麻南　託麻北



東区は、熊本市の東部に位置し、北は白川を境に北区と、東は菊陽町および益城町と、南は主に加勢川を境として南区および嘉島町と、西は主に中央区と接している。

地形的にはほとんどが広々とした台地である。託麻三山にはまとまった樹林が残り、周囲の広々とした農地とあいまって良好な自然景観を形成している。また、江津湖は豊富な湧水に恵まれた本市を代表する水辺環境となっている。

区域内には九州自動車道が通り、国道57号線（通称東バイパス）や県道36号線（通称第二空港線）、県道103号線（通称国体道路）等の主要幹線が走っている。

また、陸上自衛隊西部方面総監部（健軍駐屯地）等の公的機関やゆめタウンサンピアン等の商業施設、医療機関、学校、福祉施設等も多い。

（２）基礎データ

		東区＊		熊本市	
面　積		50.19	km^2	390.32	km^2
世帯数（H29.10.1）		84,142	世帯	336,638	世帯
人　口（H29.10.1）		188,867	人	733,720	人
年齢３区分	0～14歳（年少人口）	28,790	人	103,627	人
	（　構成比　）	(15.2	%)	(14.1	%)
	15～64歳（生産年齢人口）	117,274	人	446,336	人
	（　構成比　）	(62.1	%)	(60.8	%)
	65歳以上（老年人口）	42,803	人	183,757	人
	（　構成比　）	(22.7	%)	(25.0	%)
校区数		18	校区	92	校区
出生数（H27年）		1,924	人	7,062	人
出生率（人口千対）		10.1		9.6	

＊別紙１（東区）参照

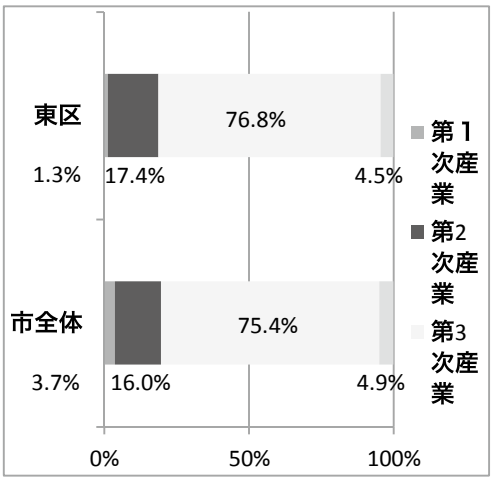
（３）産業の状況

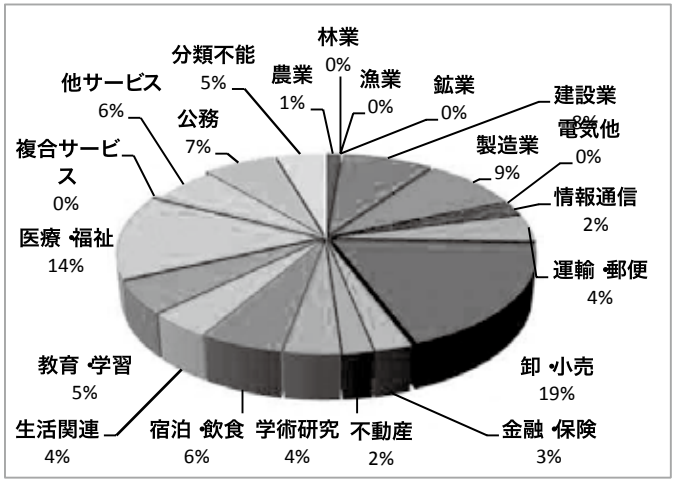
１）農業
・東区域内には、営農活動に主体的に取り組む組織も育成されており、秋津、画図、供合地区などの水田地帯では、米、麦、大豆が大規模に生産されている他、トマト、スイカ、ピーマン等の野菜や、バラ、カーネーション、トルコキキョウ等の花べん栽培も行われている。
・小山戸島地区は、県内有数の畜産の産地であり、酪農をはじめ、肉用牛、養豚、馬等、様々な経営が行われている。

２）工業
・協同組合方式の中小工業団地が４ヵ所あり、熊本ＩＣ周辺や県道熊本空港線沿線に比較的規模の大きい事業所が点在している。
・また、主要地方道熊本空港線沿いに熊本トラックターミナルが立地、本市の物流拠点として機能している。

３）商業
・健軍地区に古くからの商店街が、アーケード街を中心に形成されている。長嶺地区の市営長嶺団地付近に商店等が集積しており、国道57号沿線に、ロードサイド型の商業施設が多数立地している。

（平成22年国勢調査より）





（４）地域活動団体の状況

団体名	団体数	状況等
校区自治協議会	18	町内自治会やまちづくり委員会をはじめとした校区の各種団体で構成され、団体間の連絡調整を図っている。校区全体の地域課題への対応や、コミュニティづくりを各団体が協力して推進し、校区の地域力の向上を図っている。全１８校区に設置。
自治会	138	町内の住民により自発的に組織され、町内のふれあいや融和を図りながら、住民が相互に協力して住みよい地域社会づくりを目指して活動を行っている。
まちづくり委員会	12	校区内を対象として歴史や文化、環境など特定のテーマを決めて、広く校区の既存の地域団体、ボランティアグループ、趣味の会などをはじめ、個人単位でも自由に参加し、メンバーのふれあいを大切にしながら、自由な発想と機動力を生かして具体的なまちづくり活動を行っている。
校区社会福祉協議会	18	託麻・長嶺社会福祉協議会（一日会）は、22年度から東保健福祉センターと協働で健康づくりサポーター養成講座に取り組んでいる。また高齢者いきいきサロンの活動支援にほとんどの校区が取り組んでいる。
民生委員児童委員協議会	18	児童虐待予防のため、こんにちは赤ちゃん事業の委託をほとんどの校区が受け、乳幼児の見守りや相談を行っている。又高齢者の見守りや高齢者サロンの活動支援等地域福祉の推進活動に取り組んでいる。
ＰＴＡ	28	ＰＴＡの役員で、子育てネットワーク等健康づくり活動のメンバーを兼ねる人もおり、地域の活動をＰＴＡへ広げるきかっけとなっている。又、ＰＴＡから子ども会への広がりにも繋がっている。（小学校18、中学校10）
女性の会・地域婦人会	7	地域社会に密着し社会教育充実の為に、命を大切にする心を基盤として地域づくりに励み、健康問題等に取り組んでいる。又、各種団体と連動し行事に取り組んでおり、校区によっては、食生活改善推進員を兼ねる会員もおり、地域の健康づくり活動に協力している。
体育協会	18	小学校の体育館等を利用してスポーツ活動をおこなっている。
老人クラブ	104	高齢者の交流を図っており、校区や町内の行事への協力もおこなっている。
子育てネットワーク	18	校区社会福祉協議会、民生児童委員協議会、保育園、幼稚園、小中学校等の地域の関係者によるネットワークを構成し、子育てサークルの企画・運営や子育て情報発信等の子育て支援活動を行っている。
総合型地域スポーツクラブ	5	各地域で、健康、交流、青少年健全育成等を目的として組織され、スポーツ活動が行われている。活動地域は、11校区の桜木、桜木東、長嶺、託麻南、尾ノ上、若葉、健軍東、東町、月出、西原、託麻西にある。

（５）区の特徴　　（29年4月1日現在）

・東区は、熊本市の東部に位置する。区域内には国道57号線（通称東バイパス）や県道36号線（通称第二空港線）、県道１０３号線（通称国体道路）等の主要幹線が走り、商業施設や医療機関、学校や福祉施設等も多く、都会の姿を見せる一方で、北には託麻三山、南には江津湖の自然が広がり、都市の利便性と自然とが調和した住環境に優れた地域と言える。

１）人口・世帯の状況

・区制になった平成24年～29年の5年間の人口推移をみると、平成26年をピークに、その後は徐々に減少しているが5つの区の中ではもっとも人口が多い。一方、世帯数は5年間で約2,700世帯増加しており、世帯当たり人員はやや減少傾向にある。
・年齢構成別では、平成24年～29年の5年間の年少人口（15歳未満）の割合は、15%台前後で推移している。老年人口（65歳以上）の割合は、5年間で4.2%上昇し、その分生産年齢人口（15歳～64歳）の割合は3.7%減少している。
・老年人口割合（高齢化率）は年々上昇傾向にはあるが、市平均25.0%に対し22.7%と5区の中では最も低い。
・平成27年の出生数は、1,924人と5区の中でもっとも多く、市全体の出生数の27%を占める。
・東区18校区内の桜木東、託麻南、月出校区など新興住宅地や転勤族の多い地域の高齢化率は19%台であるのに対し、古くから宅地化が進んだ若葉校区や泉ヶ丘校区などは29～30%台と高齢化率の差が大きくなっている。

２）地域活動

・同じ東区にあっても、古くからの住宅街や新興住宅地、農家が多い地域や転勤族の多い地域など様々であり、またそれが混在している地域も多い。
・こうした中にあって、町内自治会加入率は約80%で本市全体の約85%を下回っている（平成29年4月現在）ものの、各地域では伝統や文化などその地域が持つ特性を活かした様々なまちづくりに取り組まれている。
・また、全校区で子育てネットワークが活動しているほか、自主的に健康講座を開催したり健康サポーター養成するなど、健康をキーワードとした取り組みも行われている。

３）自然・観光・レクリエーション等

区の北部には、託麻三山とそれに隣接して熊本県民総合運動公園があり、南部には、１日40万トンもの湧水量を誇り、貴重な植物、魚が生息する江津湖がある。また、120種1,000頭の動物と5万点の植物を有する熊本市動植物園は、平成28年熊本地震により甚大な被害を受け、平成30年3月現在も復旧作業のため部分開園を行っている。

４）文教施設等

熊本県立大学、東海大学・熊本キャンパスの大学が2校、熊本総合医療リハビリテーション学院、西日本リハビリテーション学院等の専修学校が5校、県立熊本聾学校、県立盲学校の特別支援学校が２校ある。又、健軍文化ホールもあり、文教地域でもある。

２　区の活動方針

（１）区の目標

全ての住民が、住み慣れた地域で安心して自分らしく暮らし「おたがいさま」の心で支えあえるまちとなるよう、住民と共に地域の健康まちづくりを推進する。

（２）取り組みの方向

・健康まちづくりを、地域包括ケアシステム構築を支えるための必要不可欠な取り組みとして位置づける。
・全てのライフステージとあらゆる健康段階において、予防と自立の意識の醸成を図る。
・地域主体の取り組みを支援する。
・健康を支援する環境づくりとして、ボランティア組織のネットワークを強化して、地域に根ざした主体的活動を支援する。

（３）成果指標

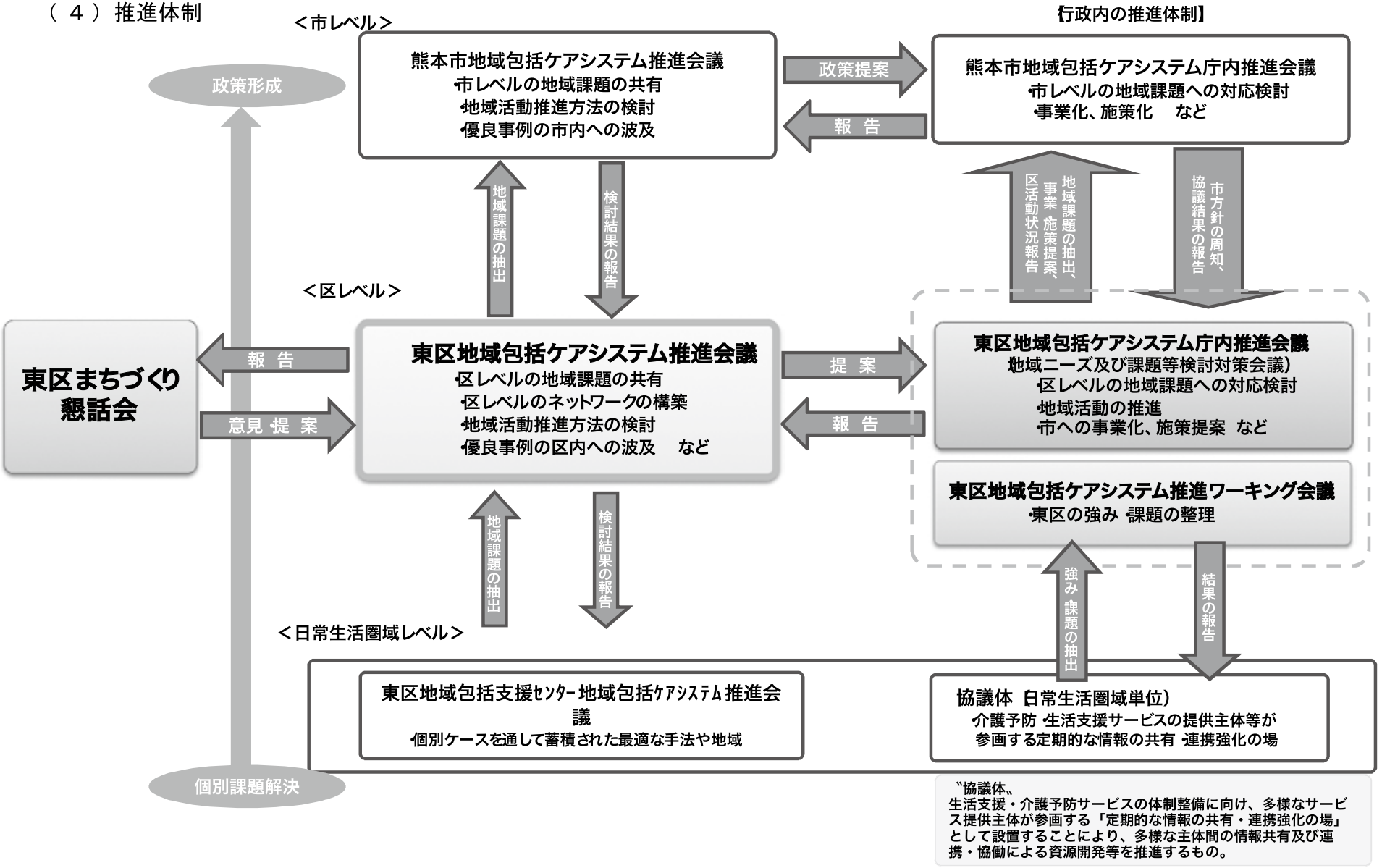
[住民の健康意識の醸成]
①国保(協会けんぽ)の特定健診受診率の向上
　25年度：25.8%→H34年度：30%

[地域主体の活動の推進]
②地域と健康課題を共有し、協働で健康をテーマとしたまちづくり活動を実施した校区数
　H25年度：2/18校区→H34年度12/18　校区

[ボランティア活動の活性化]
③健康づくり推進に関するボランティア数(人)
　H25年度：169人→H34年度：310人

④地域での自主自立したボランティア活動の実績(回)
　H25年度：851→H34年度：1330

（４）推進体制



〝協議体〟
生活支援・介護予防サービスの体制整備に向け、多様なサービス提供主体が参画する「定期的な情報の共有・連携強化の場」として設置することにより、多様な主体間の情報共有及び連携・協働による資源開発等を推進するもの。

別紙（ 東区）

○基礎データ

校区名			尾ノ上	画図	健軍	健軍東	山ノ内	東町	託麻東	託麻西	託麻南	桜木	桜木東	秋津	若葉	泉ヶ丘	月出	長嶺	託麻北	西原
世帯数（ H29.10.1）		世帯	6,098	5,897	5,544	1,876	4,303	3,857	5,736	6,955	5,834	3,207	2,782	5,143	2,345	3,076	5,143	5,610	3,629	7,107
人　口（ H29.10.1）		人	12,792	14,126	11,902	4,295	9,742	8,256	14,096	15,567	14,215	7,237	7,140	11,927	4,974	6,390	10,332	13,217	8,507	14,152
年齢3区分	0～14歳（ 年少人口）	人	1,719	2,533	1,551	650	1,495	1,324	2,568	2,317	2,395	1,070	1,329	1,666	654	830	1,334	2,243	1,229	1,883
	（　構成比　）	（ %）	13.4	17.9	13.0	15.1	15.3	16.0	18.2	14.9	16.8	14.8	18.6	14.0	13.1	13.0	12.9	17.0	14.4	13.3
	15～64歳（ 生産年齢人口）	人	7,959	8,130	7,609	2,788	6,189	5,130	8,497	9,716	9,039	4,524	4,414	7,323	2,842	3,602	6,958	8,314	5,223	9,017
	（　構成比　）	（ %）	62.2	57.6	63.9	64.9	63.5	62.1	60.3	62.4	63.6	62.5	61.8	61.4	57.1	56.4	67.3	62.9	61.4	63.7
	65歳以上（ 老年人口）	人	3,114	3,463	2,742	857	2,058	1,802	3,031	3,534	2,781	1,643	1,397	2,938	1,478	1,958	2,040	2,660	2,055	3,252
	（　構成比　）	（ %）	24.3	24.5	23.0	20.0	21.1	21.8	21.5	22.7	19.6	22.7	19.6	24.6	29.7	30.6	19.7	20.1	24.2	23.0
校区数		校区	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
出生数（ H27年）		人	113	162	106	31	98	54	172	200	158	80	81	124	33	52	111	122	102	125
出生率（ 人口千対）			8.8	11.6	8.6	6.8	10.1	6.7	12.4	12.5	11.1	10.8	11.8	9.5	6.3	7.9	10.8	9.3	11.7	8.6

①人口 世帯数 年齢3区分　……・　人口統計表 熊本市統計課） 平成29年10月1日
②出生数 出生率　……・　熊本市の保健福祉平成29年度版